

	Cレベル(改善が必要)	Bレベル(もう少し努力)	Aレベル(目標達成)	Sレベル(すばらしい)	重要度
暗号の歴史	外部資料を参照しても、暗号の概念的・一般的な設問に解答できない。(現代暗号の存在を知らない)	外部資料を参照すれば、暗号の概念的・一般的な設問に解答できる知識を持つ。(現代暗号の存在を知っている)	暗号の教養として概念的・歴史的な設問に解答できる程度の知識を持つ。(現代暗号の違いを知っている)	暗号の教養としての知識を備え、かつ、基礎となる技術について、自らの言葉で説明できる。(現代暗号の簡単な説明ができる)	10%
共通鍵暗号の基礎としての理解	外部資料を参照しても、共通暗号の基礎となる技術について、一般的な設問に解答できない。	外部資料を参照すれば、共通鍵暗号の基礎となる技術について、一般的な設問に解答できる知識を持つ。	共通鍵暗号の基礎となる技術について、一般的な設問に解答できる程度の知識を持つ。	共通鍵暗号の基礎となる技術について、自らの言葉で説明できる。	10%
共通鍵暗号の専門的な理解	外部資料を参照しても、共通暗号の専門的な技術に関する設問に解答できない。	外部資料を参照すれば、共通鍵暗号の専門的な技術に関する設問に解答できる知識を持つ。	共通鍵暗号の専門的な技術に関する設問に若干の示唆を与えるのみで解答できる程度の知識を持つ。	共通鍵暗号の専門的な技術について、その応用方法等の考察ができる。	10%
公開鍵暗号の基礎理解	外部資料を参照しても、公開鍵暗号の基礎となる技術について、一般的な設問に解答できない。	外部資料を参照すれば、公開鍵暗号の基礎となる技術について、一般的な設問に解答できる知識を持つ。	公開鍵暗号の基礎となる技術について、一般的な設問に解答できる程度の知識を持つ。	公開鍵暗号の基礎となる技術について、自らの言葉で説明できる。	10%
公開鍵暗号の安全性の理解	外部資料を参照しても、公開鍵暗号の安全性について、一般的な設問に解答できない。	外部資料を参照すれば、公開鍵暗号の安全性について、一般的な設問に解答できる知識を持つ。	公開鍵暗号の安全性について、一般的な設問に解答できる程度の知識を持つ。	公開鍵暗号の安全性について、考察を行い、数学的に証明できる。	10%
公開鍵暗号の応用に関する理解	外部資料を参照しても、公開鍵暗号を用いたプロトコルについて、一般的な設問に解答できない。	外部資料を参照すれば、公開鍵暗号を用いたプロトコルについて、一般的な設問に解答できる知識を持つ。	公開鍵暗号を用いたプロトコルについて、一般的な設問に解答できる程度の知識を持つ。	公開鍵暗号を用いたプロトコルについて、自らの言葉で説明できる。	10%
情報セキュリティの考え方の理解	外部資料を参照しても、情報セキュリティについての基本的な考え方について、一般的な設問に解答できない。	外部資料を参照すれば、情報セキュリティについての基本的な考え方について、一般的な設問に解答できる知識を持つ。	情報セキュリティについての基本的な考え方について、一般的な設問に解答できる知識を持つ。	情報セキュリティの基本概念を自らの言葉で語ることができる。	20%
世の中を支えるセキュリティ技術の認識	セキュリティに関する歴史的経緯、攻撃手法、防御手法、業界標準について、与えられた外部資料を参照しても、一般的な設問に解答できない。	外部資料を参照すれば、セキュリティに関する歴史的経緯、攻撃手法、防御手法、業界標準について、一般的な設問に解答できる知識を持つ。	セキュリティに関する歴史的経緯、攻撃手法、防御手法、業界標準について、一般的な設問に解答できる知識を持つ。	セキュリティに関する歴史的経緯、攻撃手法、防御手法、業界標準について自ら語れる知識を持つ。	10%
ビジネスとしてのセキュリティ技術	与えられた外部資料を参照し、現在ビジネス上でのセキュリティ課題を把握し、一般的な設問に対して解答できない。	自ら外部資料を参照し、現在ビジネス上でのセキュリティ課題を把握し、一般的な設問に対して解答できる知識を持つ。	現在ビジネス上でのセキュリティ課題を把握し、一般的な設問に対して解答できる知識を持つ。	現在ビジネス上でのセキュリティ課題を把握し、自らセキュリティ技術を用いたビジネスを創出しえる。	10%